

2018年度 歯科衛生士復職支援・新人研修プログラム
研修コース概要

臨床研修

区分	コース	コード	科目	講習分類	内容	期間	定員
				臨床実習			
選択	臨床実技	C-1	保存修復科	○	保存領域での治療に入る前の患者の口腔衛生管理を研修する。精神・心理面での対応が難しい症例ではコミュニケーション手法を研修する。白い歯外来や口臭外来の診療補助、また、歯周手術の見学と手術用器具・器具の準備についても研修する。	1か月	2
			歯内治療科	○			
			歯周治療科	○			
		C-2	高齢者歯科	○	高齢者歯科診療室で70歳以上の高齢者及び総合病院入院患者に対する訪問歯科診療での診療補助と口腔機能管理についても研修する。また、ドライマウス外来での口腔乾燥患者に対する検査について研修する。	1か月	2
		C-3	補綴咬合治療科	○	補綴処置に入る前の口腔衛生管理（歯周初期治療を含む）と補綴処置終了後の定期検診を研修する。	1か月	2
		C-4	口腔外科	○	本院に入院して手術を受ける患者全員の術前から入院中、退院後までの口腔衛生管理を研修する。口腔癌の症例では放射線治療・化学療法中のメンタルサポート、術後のリハビリについても研修する。また、他院からの難抜歯・歯槽整形・嚢胞摘出・顎骨骨折の整復・固定などの器具の準備についても研修する。	1か月	2
		C-5	矯正歯科	○	矯正治療中の患者の口腔衛生管理を研修する。（顎変形症のケースは術前からの介入で術前のブラークフリーに繋げる）また、矯正装置の器具・器材の管理業務を研修する。	1か月	2
		C-6	小児歯科・障がい者歯科	○	乳児から15歳未満の発育過程にある小児を対象とする総合診療を研修する。身体のみならず精神面で問題を抱えている患者へのトータルサポート、また、開業歯科医院で難しいとされる歯科治療の全身麻酔下での施術に対しての診療補助業務も研修する。	1か月	2
		C-7	口腔インプラント科	○	インプラント施術患者の術前から定期健診までの口腔衛生管理について研修する。また、手術に使用する器具・器材の準備から使用後の洗浄・滅菌までの過程を研修する。	1か月	2
		C-8	口腔診断科	○	初診患者に対する接遇について研修する。来院動機や検査（口腔内の歯式の記載）から適切な診療科の選択に加えて、紹介元医療機関との連携窓口にもなっていることから地域連携についても研修する。	1か月	2
C-9	口腔リハビリテーション科	○	顎顔面領域に障がいのある患者、あるいは加齢に伴い口腔機能が低下した患者の専門的検査とリハビリテーションの実践を研修する。	1か月	2		
C-10	総合診療科	○	総合治療計画に基づく歯科診療を終えた患者の定期健診（歯周病安定期治療）について研修する。また、関連総合病院から依頼された周術期の口腔衛生管理についても研修する。	1か月	2		